

7 月 21 日（火） 武田医療安全管理者による「医療安全」をテーマとした総合講義を実施しました。本講義では、医療事故は「誰にでも起こり得るもの」であり、ミスを防ぐためには個人の注意だけでなく、仕組みづくりが重要だと教わりました。また、医療者と患者さんでは感じている不安や重視するポイントが異なることを知り、丁寧な説明やコミュニケーションの重要性について理解を深めました。今回の研修を通じて、医療安全は知識の習得だけでなく、日々の意識や行動が重要であることを再認識する機会となりました。研修医一人ひとりが患者さんの安全を第一に考え、今後の診療に生かしていくことが期待されます。

7 月 25 日（土） 高校生を対象とした医療体験セミナーが開催され、1 年次の城田研修医と津山研修医が超音波（エコー）検査のデモンストレーションを行いました。実際の検査の様子を交えながら、わかりやすく丁寧に説明し、高校生に超音波検査の仕組みや役割について理解を深めてもらいました。参加した高校生は医療現場の雰囲気を感じながら、医療職の魅力や責任について学ぶ貴重な機会となり、研修医にとっても、日頃の学びを発信し、次世代へ医療の魅力を伝える貴重な経験となりました。



当院ではインシデント報告を積極的に行っており、研修医にも「気づいたことを報告すること」が求められています。報告は罰ではなく、再発防止につながる大切な情報だという言葉が心に残りました



「これがエコー検査です！」実際の検査の様子を見てもらいながら、その仕組みや役割についてわかりやすく紹介しました